
魔法使い？

tanaka

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法使い？

【著者名】

ZZード

ZZ3359ZZ

【作者名】

tanaka

【あらすじ】

三十路を越えても童貞なら魔法が使える！
よくある？ ネタで書いてみました。

「 59、58、57……」

刻一刻と時が過ぎていく。

もう少し。あともう少しで運命の瞬間が訪れる。

「 34、33、32……」

あと数十秒で俺の人生は絶頂を迎えるだろう。

「 16、15、14……」

長かった。本当に長い道のりだった。

だけど、その苦行もじきに終わる。

「 5、4、3……」

これでやっと俺は

「 1、ゼロッ！』

キタ！ ついにこの時がきてしまった！

童貞を守り続けて三十年。

これで俺は魔法使いになる事が出来るんだ。

何度も誘惑に負けそうになつた事か。何時間、風俗店の前をうろついたんだろうか。

決して俺は女にモテないから三十年間、童貞だつたわけじゃない！

俺は俺の意志で童貞を守り続けたんだ！

だから別に悔しくなんかないもん！

それに俺はもう魔法使いなんだからいいじゃないか。

魔法を使って今まで自分が出来なかつた事をすればいい。

そう！ 俺は魔法使いなんだ！

「 よ、よし。いくぞ……」

試しに透明になれる魔法を使ってみよつと思つ。

透明になつて何をするかつて？ そんな事決まつてゐるだろ。

勿論覗きですよ

そんなわけでござ

「あ、消えたかな？」

高鳴る気持ちを抑えつつ鏡の前に立つ。

「…………あれ？」

普通に自分が見える。

俺が魔法を使った本人だから見えるわけじゃないよな？ どう考
えても姿が消えていない。

「どういう事だ？」

俺は魔法を使つたはずだぞ。それなのに

「あ、まさか つ！？」

三十年間童貞を守つても魔法を使う事は出来ない！？

う、嘘だろ？ いやいや、まじとじやかにそつこつう噂があつたじ
やないか。

あれはママだって言つのか？ 俺は嘘の情報に踊らされていたの
か？

「最悪だ……」

童貞を捨てる事も出来ずに魔法を使う事も出来ない。何といふ不
幸だらうか。

俺はこの先何を希望に生きていけばいいのだろうか？

希望が無ければ生きている意味も

半ば自棄になつた俺にある一つの希望が顔を覗かせていた。

“六十になつて未だに童貞であれば、その男は魔法使いになれる”

“ああ。そういう事か。俺は勘違いをしていたのか。”

“そうだよな。三十歳なんてまだ若いよな。魔法使いはもつと年寄
りだよな。”

“よし！ 生きる希望が見えてきた。”

あと三十年間頑張るつ。頑張つて童貞を守つて魔法使いに

新たに決意を決め俺は長い苦行を開始する。
そう。童貞を守り続けるといつ苦行を

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3359n/>

魔法使い？

2010年10月9日18時43分発行